

參考資料 2

安井專門委員提出資料

化学物質リスク総合管理技術研究イニシャティブの枠組み

化学物質リスク総合管理分野の特徴

1. 「安心・安全な生活」を求める社会的要請に応える知的活動
2. 社会の規範や活動と深く関わり、これを支え、かつ、先導する知的活動
3. 諸学・諸科学の成果を糾合する複合的な知的活動

重点化の背景となる取り組みのあり方

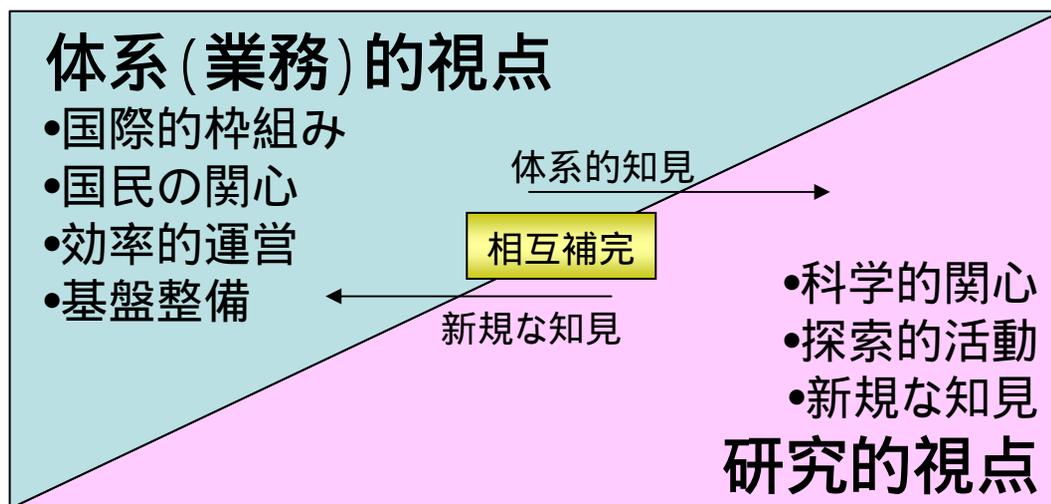
1. 社会的な要請に応えるための体系的、計画的、戦略的な取り組み
2. 国際的枠組みや国内規範の動向と連携し、これを先導して行く取り組み
3. 地道な「データの集積と評価」といった形態の取り組み
4. 知識の集大成・体系化、知識の構造化を図る取り組み
5. 問題提起に止まらず、合理的な解決策を提案する取り組み

化学物質リスク総合管理技術研究イニシャティブの特徴

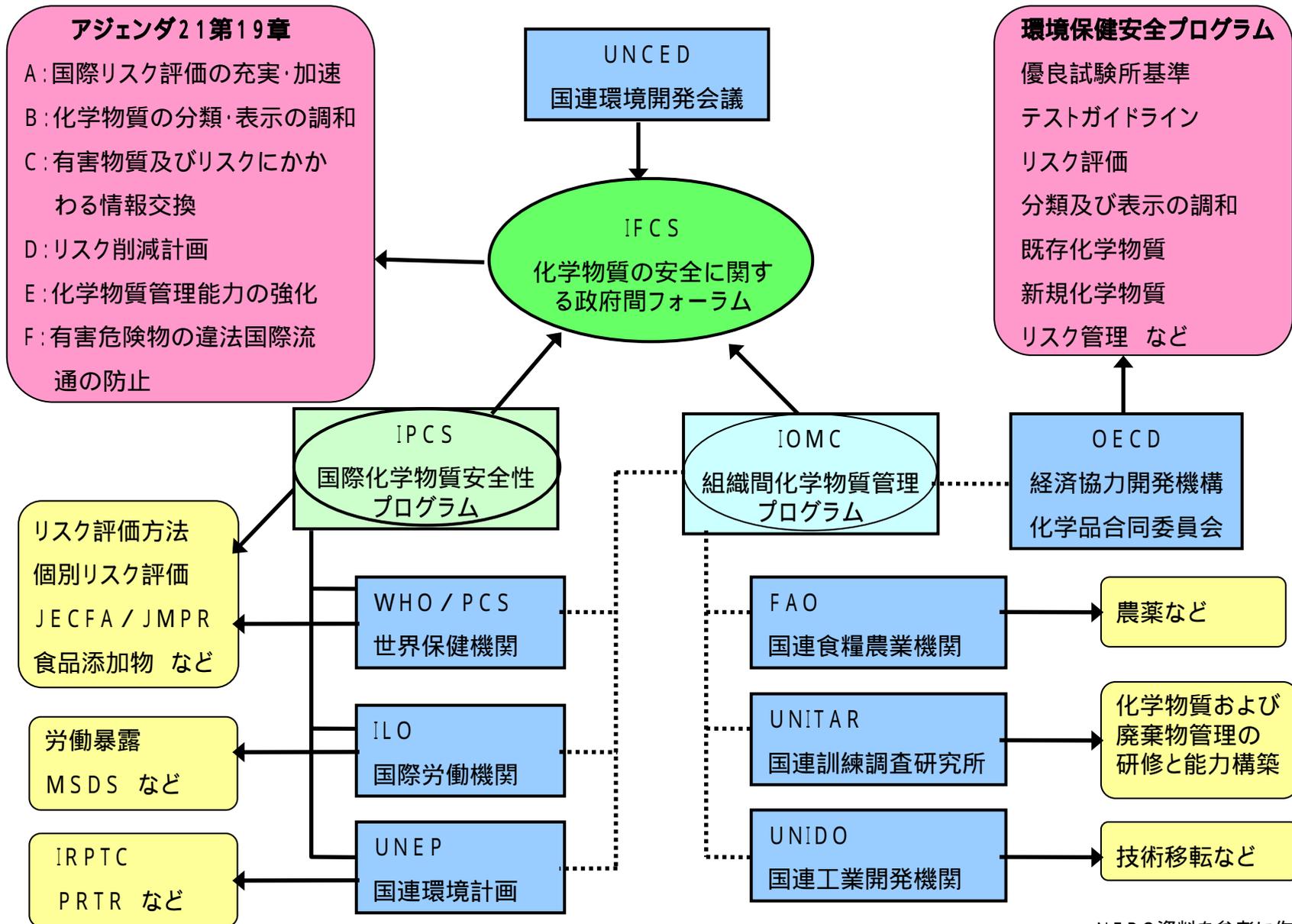
イニシャティブのあり方について

- ✓体系(業務)的取り組みと研究的取り組みがともに不可欠
- ✓戦略的なシナリオの提示と連動
- ✓制限でなく、方向性を提示

取り組み方について

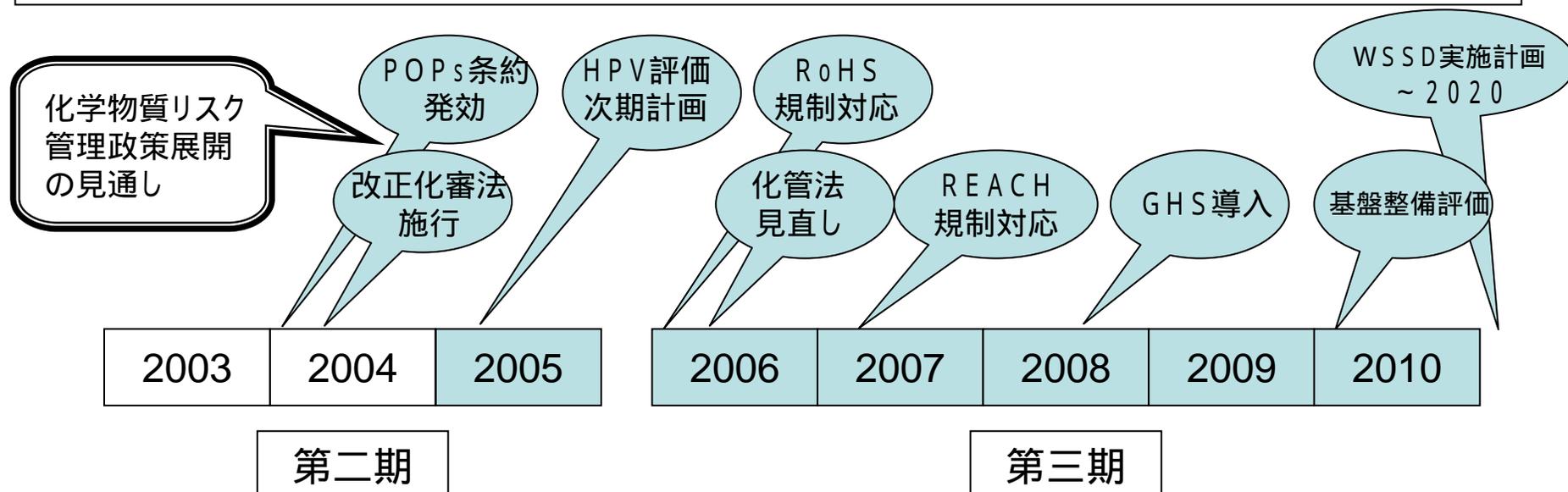


UNCEDを中心とした化学物質管理に関わる国際機関の関係



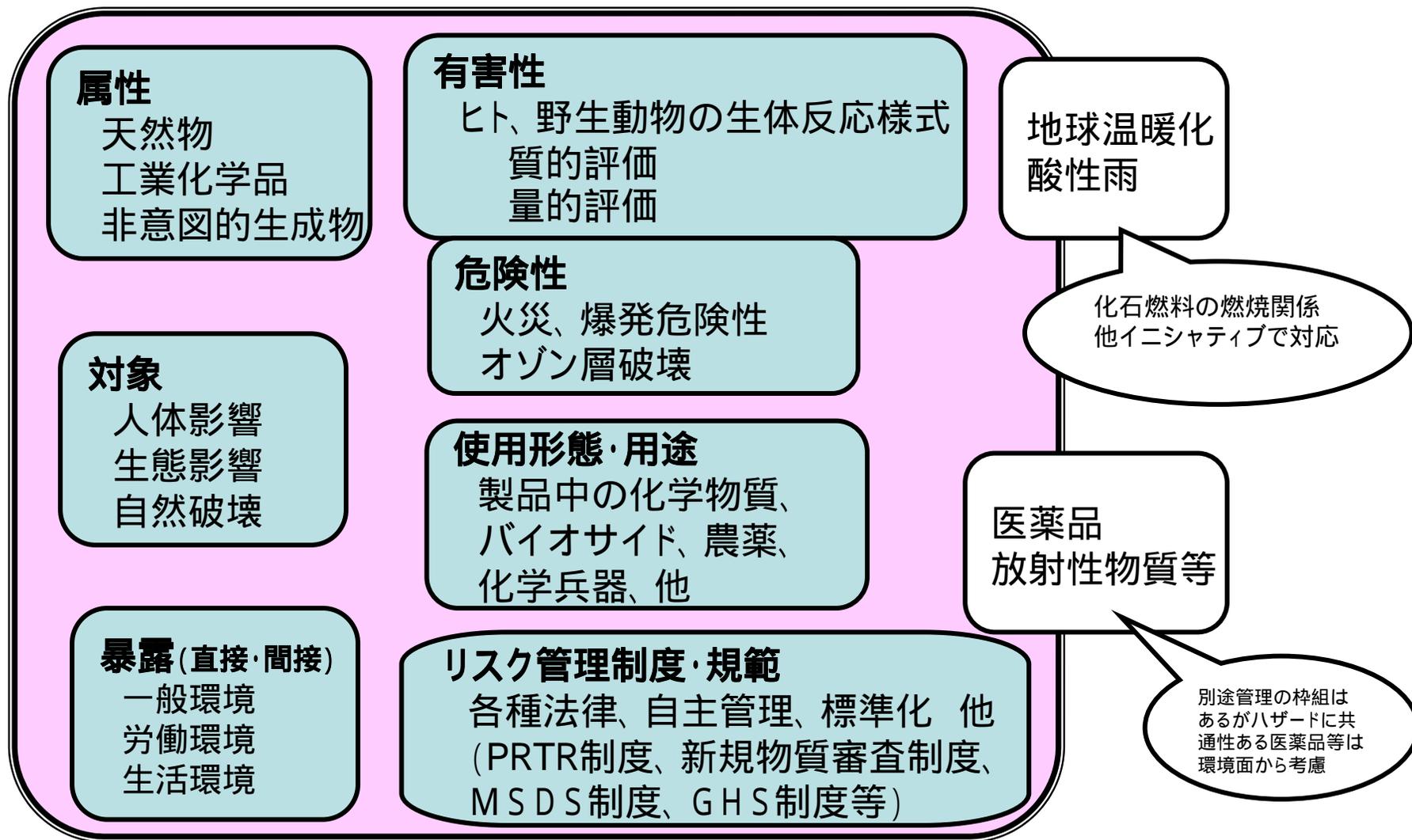
化学物質リスク総合管理技術研究イニシャティブ会合における 検討のミッションについて

国際的な化学物質リスク管理政策の動向を踏まえ、
科学技術基本計画(第三期)の策定も視野に入れ、
今後6年間の具体的達成目標と重点的取組み課題について検討

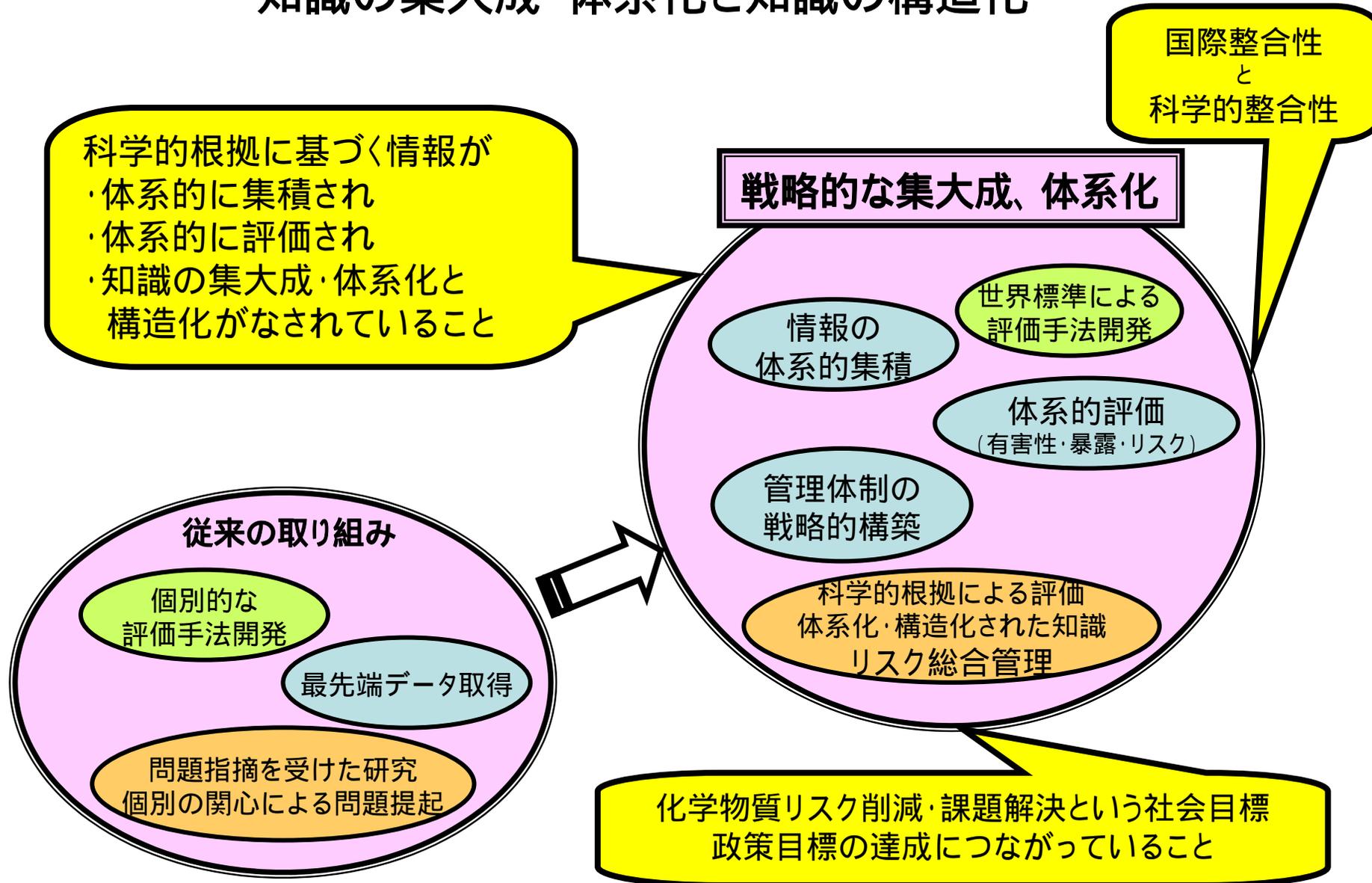


国民の求める化学物質のリスク管理を的確に進めるため、化学物質総合管理の国際的な枠組みおよび内外の政策展開の動向を踏まえつつ、国際的な役割を的確に果たす視点、そして、科学的知見に基づき積極的に政策提言していく視点を持って、イニシャティブとしての目的と目標等を検討。

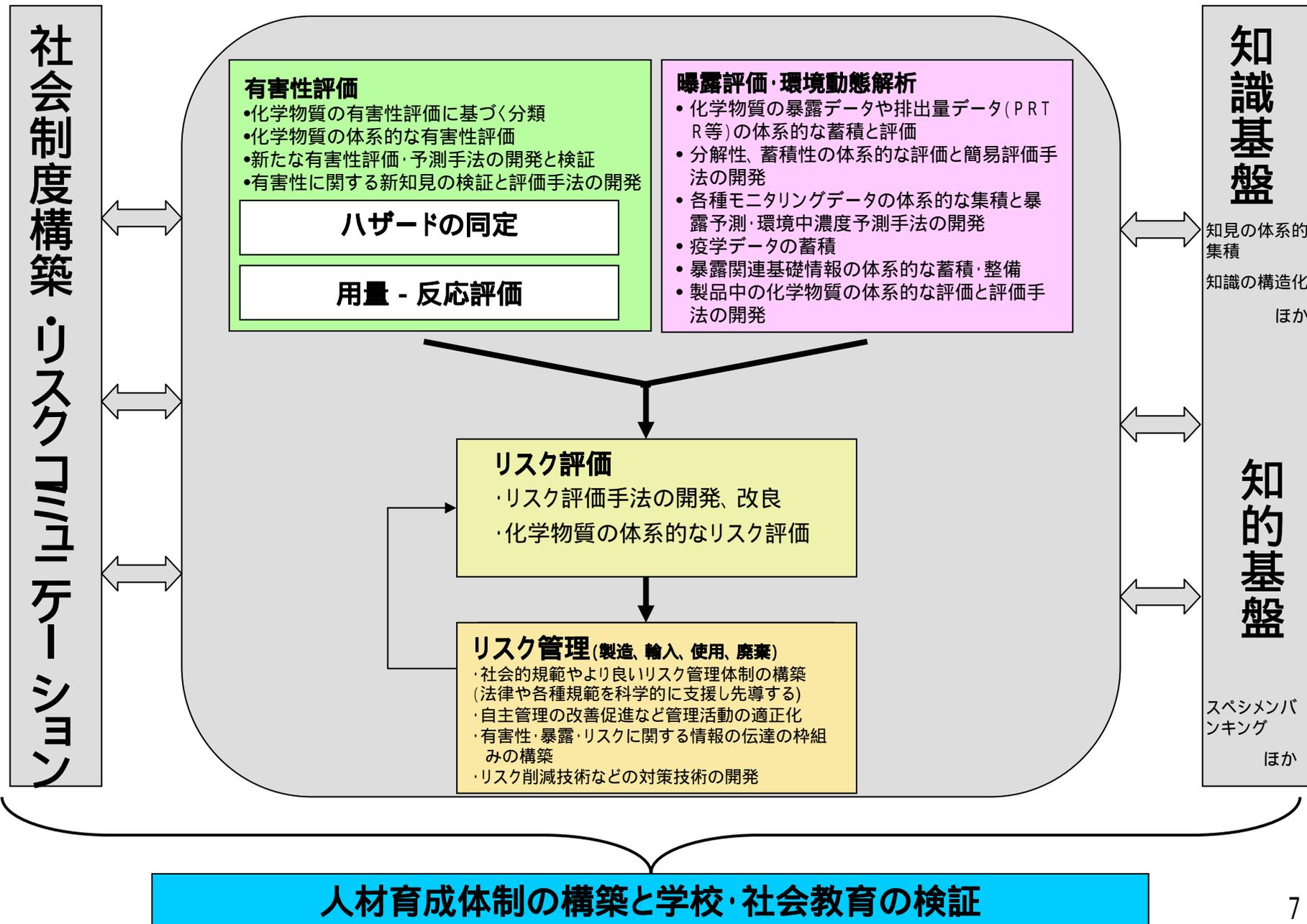
化学物質リスク総合管理の主たる守備範囲



化学物質リスク総合管理に関する 知識の集大成・体系化と知識の構造化



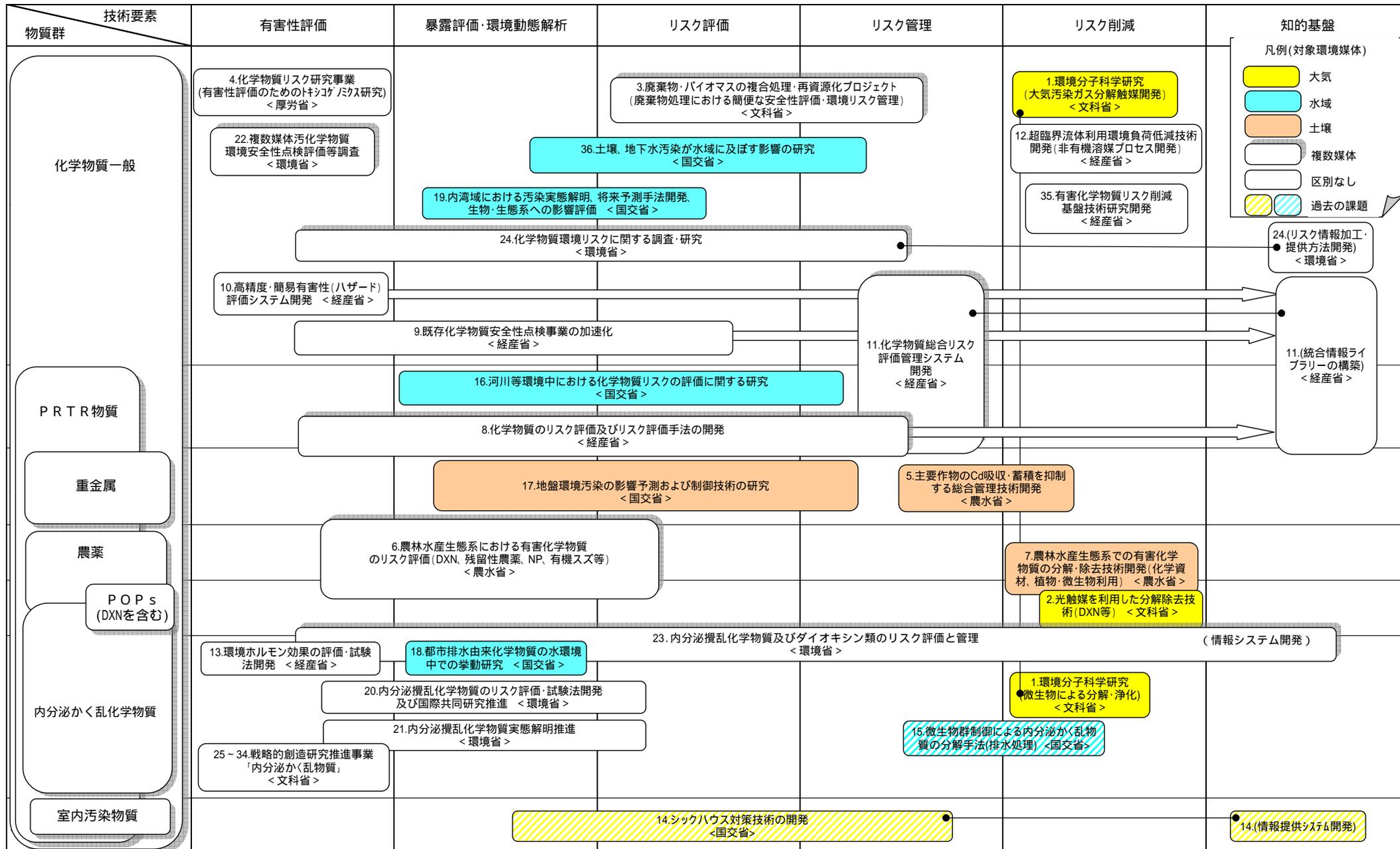
化学物質リスク総合管理技術の体系



化学物質リスク総合管理技術研究イニシャティブ 課題マップ

(別添)

注) 箱の中は課題整理番号と課題名、()内は課題概要等より抽出



社会制度構築・リスクコミュニケーション

リスク管理

対策技術

リスク評価

有害性評価

暴露評価・環境動態解析

知的基盤・知識基盤

社会制度構築・リスクコミュニケーション

11.化学物質総合リスク評価管理システムの構築

5.作物中のCd管理技術

1.環境分子科学研究

35.有害化学物質リスク削減技術

リスク管理

対策技術

3.廃棄物・バイオマスの複合処理・再資源化

12.超臨界流体利用環境負荷低減技術開発

16.河川等環境中における化学物質リスクの評価

17.地盤環境汚染影響評価

36.土壌、地下水汚染の影響研究

リスク評価

24.化学物質環境リスクに関する調査研究

8.化学物質のリスク評価及びリスク評価手法の開発

22.複数媒体汚染毒性試験

暴露評価・環境動態解析

有害性評価

4.化学物質リスク研究(トキシゲニクス)

9.化学物質安全性点検の加速化

10.高精度・簡易有害性評価システム開発

19.内湾域の実態解明と予測手法開発

14.シックハウス対策技術の開発

知的基盤・知識基盤

平成16年度課題

平成15年度以前の課題

社会制度構築・リスクコミュニケーション

リスク管理

15.微生物群制御による内分泌かく乱物質の分解

対策技術

1.環境分子科学研究

7.農水生態系での分解除去技術

2.光触媒分解除去技術

23.内分泌攪乱化学物質及びダイオキシン類のリスク評価と管理

リスク評価

13.環境ホルモン評価試験法、開発

6.農林水産生態系における有害化学物質のリスク評価(DXN、残留性農薬、NP、有機スズ等)

有害性評価

21.内分泌攪乱化学物質実態解明推進

暴露評価・環境動態解析

25~34.戦略的創造研究推進事業「内分泌かく乱物質」

20.内分泌攪乱化学物質のリスク評価・試験法開発及び国際共同研究推進

18.水環境中での挙動研究

知的基盤・知識基盤

- 平成16年度課題
- 平成15年度以前の課題

社会制度構築・リスクコミュニケーション

リスク管理

対策技術

リスク評価

有害性評価

混合物

暴露評価・環境動態解析

受容体原性毒性物質
シグナルかく乱物質

ナノマテリアル・バイオナノマテリアル

知的基盤・知識基盤

取り組みつつある課題

社会制度構築・リスクコミュニケーション

規制効果分析技術

危機対応連携技術

バイオレメディエーション
ファイトレメディエーション

リスク管理

対策技術

ナノ空間・ナノ表面を利用した
回収・分解・除去技術
ナノ触媒利用有害物質除去技術

情報統合知的基盤技術

QOL評価技術

リスク評価

個体差評価技術

ハイレスク物質評価技術

トキシコゲノミクス(オミクス)
・暴露バイオマーカー

暴露評価・環境動態解析

胎児・新生児・
小児評価技術

トキシコゲノミクス(オミクス)
・有害性バイオマーカー
・メカニズム解析
・毒性予測(含む種差予測)
バイオインフォマティクス

分析技術開発
バイオアッセイ

試験法

有害性評価

QSAR

予測モデル

知的基盤・知識基盤

取り組みつつある課題